

通信

NO. 105
2021年10月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目

33番11-702号

☎092-409-4177

「円熟した優雅さ」と「愚かしさ」 ザクロの花言葉



ザクロの実が熟れる季節。スケッチした。

花言葉を調べると“花は「円熟した優雅さ」”“実は「愚かしさ」”とある。

調べてみるとギリシャ神話による由来のようだ。

スタ
コラ

久しぶりのお
出かけ
林田 春美

緊急事態宣言のなか何処へも楽しく出かけられない。

県外の実家のお墓参りにも行

けない。

図書館は閉まっていて本も借りられない。食料品を買うとき

だって、なるべく短時間で済ませなければならない。

そんな自粛生活の中、外出に大満足した日があった。

献血のお誘いのハガキがきた。

「コロナ禍の影響で血液が不足しています。O型の血液型が足りません。ご協力ください。」と…。

ボランティアで外出なんて誇らしい。最近服用中の胃薬を我慢してその日に備えた。

開場して15分後、すでに受付には5人の列。私の後にもどどん人が並んでいく。並んでくれるだけでもとても気分がよい。

こんなに多くの人が献血にやってくるのだ。

入口近くで、通行中の人にチラチラ見られても、堂々としてられる。

人が多くなかなか献血バスに案内されないが、最近のぎすぎすした気分はどこにもない。

案内されたバスの中心部には細長い台があって、まるでバーカウンターのように見えた。

カウンターの中には看護スタッフの女性たち。「タバコは吸いますか？お酒は飲まれますか？今日は飲みすぎないでくださいね」と声をかけている。

おじさんたちがカウンターを

けんけっちゃん



はさんで女性の看護スタッフと話している光景に、昭和の snacks が思い出された。

皆の無償の愛があふれ出している温かい雰囲気であった。

400mlの献血が終わり。ゆっくり休んで、ジュースを飲んで、お土産に飲み物と歯磨粉、献血のパフレットをもらい、ご機嫌で帰った。

久々に大満足の外出であった。

帰宅して「大勢の人が来ていたよ」と、はしゃぎながら娘に話すと「血液はあんまり日持ちがしないからなるべく一遍に沢山じゃないほうがいいらしいよ」と言われた。

血液の安定供給の為には定期的に常設の献血ルームに行かねばと思う。…忘れていた。

献血。人によっては簡単にできる社会貢献。いつまでもいつでもできるわけじゃないが、この幸福感を味わえるなら、今しばらく続けたい。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

烏瓜が鮮やか



烏瓜が、真っ赤に色づいている。久しぶりに見た気がする。



Relationship & Partnership
ビジネス総研



映画大好き
の山ちゃん
が、毎回、
自分の言葉
で執筆しま
す。

キネマの神様



監督：山田 洋次
出演：沢田 研二
菅田 将暉
永野 芽郁
北川 景子
寺島しのぶ
宮本 信子
2021年 松竹

松竹映画の100周年を記念した作品。

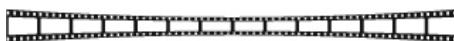
2020年3月1日にクランクインし、ちょうど半分を撮り終えた3月末。ダブル主演の1人である志村けんさんを失い、4月には撮影の長期中断を余儀なくされた。

映画完成への道のりは度重なる困難に直面し、途絶えかけたが「一人でも多くの人に、この物語を届けたい」その想いを胸に、一歩ずつ前に進み、ようやく完成した作品。

これは映画の神様を信じ続けた男とその家族に起こる奇跡の物語である。

新たな100年への旅立ちに

もふさわしい豪華・俳優人の名演技を是非とも鑑賞あれ。



くまさんの コンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

立憲主義と総選挙 国民無視の総裁選

自民党の新総裁が決まり、岸田内閣が発足したが、この新内閣は、これまでのアベ・スガ政権の直径内閣ともいわれ、党役員人事では、幹事長をはじめとする党三役人事ではさらに露骨な構成となっている。

さらに、「国民の声を聴く」といいながら、予算委員会も開かず、その本質が見抜かれてきている。

具体的な課題でも、“モリ・カケ・サクラ”は、公文書の改竄(かいざん)を平然と行い、良心を持ったAさんの命を奪い、やっと認めた「Aさんメモ」の開示は、黒塗りだらけの“ノリ弁”状態で、遺族の要求にも背を向け続けている。

「学会会議会員候補6名の任命拒否」は、すでに1年が経過したが、この憲法違反の状態は未解決のままである。

新型コロナウイルス感染症対策におい

て、専門家の提言や国民の声に耳を貸さず、医療崩壊を引き起こし、在宅で患者を放置して亡くなる人が相次いだ状況についても、科学的な分析にも背を向け続けている。

そして、岸田内閣の登場で“お祝儀支持率”を目論んだが、実際には支持率は50%にも届いていない。

こんな政権には、もう、うんざり。いよいよ10月31日は総選挙。候補者用のポスター掲示板も設置された。

さあ、立憲主義を取り戻すための絶好の機会だ。

しっかりと意思表示をしなければならぬとの思いを強くしている。



編集後記

アメリカ国籍の真鍋淑郎氏が、1960年代に地球の気候を解析する手法を開発し、大気中の二酸化炭素濃度の増加が地球温暖化に影響することを実証。その業績が高く評価され、ノーベル物理学賞を受賞した。



近所の田んぼの稲穂は黄金色に色づき、桜並木も銀杏も紅葉している。

しかし、こうした日本の四季はいつまで続くのだろうか。